

ガスビルトインコンロ

110-5200型

110-5201型



大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部 〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 電話 0120-0-94817
南部事業本部 〒590-0873 岸和田市古橋町2-2-19 電話 0120-3-94817
北東部事業本部 〒576-8502 東大阪市柏葉2-3-17 電話 0120-5-94817
兵庫事業本部 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話 0120-7-94817
京滋事業本部 〒601-8816 京都市下京区中堂寺東山町1 携帯 0120-8-94817

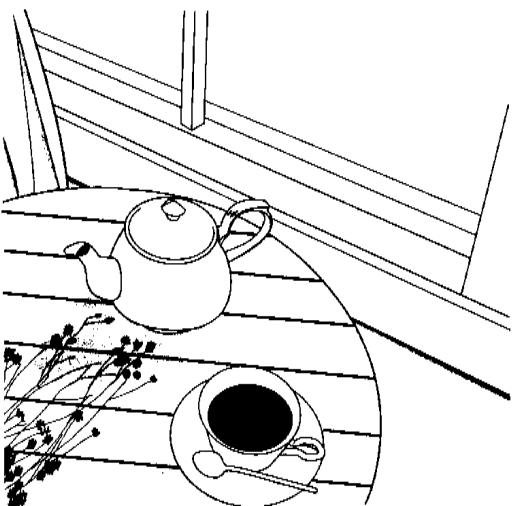
※お電話のむかし間違ひのないようお願いいたします。

(所在地、電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に対する注意）よりの大阪ガスにご連絡ください。



取扱説明書

このたびはガスビルトインコンロをお求めいただきまして、ありがとうございます。

99大阪ガス

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- この「取扱説明書」に署かれている内容以外ではご使用にならないでください。

別添の保証書はこの取扱説明書とともに、大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は裏表紙に記載のお近くの大坂ガスまでお問い合わせください。

各部のなまえ · · · · · 1

必ずお守りください · · · · 2

設置について · · · · · 6

こんろの使いかた · · · · · 9

おしらせサインについて · · · 13

グリルの使いかた · · · · · 14

点検とお手入れ · · · · · 16

故障かな?と思ったら · · · 20

保管とアフターサービス · · · 21

別売部品のご紹介 · · · · · 22

仕様 · · · · · 22

お使いの前に

使いかた

お点手入れ

故障?

サービス

必ずお守り下さい

△警告

■分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わない
→発火したり、異常作動してけがの原因となります。



■使用ガスについて

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）の適合を確認する

→表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。

おわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店をお近くの大阪ガスまでご連絡ください。



ガス棒を確認する

型式名	
ガスの種類及びガスグループ:	都市ガス用
ガス消費量	LPGガス用
製造年・月製造番号・製造事業者名	

■火災予防

機器の周囲に可燃物（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火物（スプレー缶など）を置かない、近づけない

→火災の原因になります。
スプレー缶の場合は熱でスプレー缶の圧力上がり爆発するおそれがあります。

グリル使用中、グリル排気口の上にタオル、ふきなどをのせない

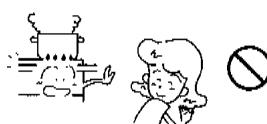
→火災や不完全燃焼の原因になります。



火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない
→火災の原因になります。

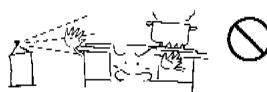


火をつけたまま機器から絶対に離れない
→特に揚げものときやグリル使用中は火災のおそれがあります。



機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない

→火災の原因になります。



グリル入れ皿に水以外のものは入れない

→火災や機器の損傷の原因になります。また、グリル入れ皿が異常に加熱されて膨張し、出し入れする際にグリル皿内に擦れて早くはじたり、ホールドを傷めることができます。

焼網の上や下にアルミ箔を敷かない

→アルミ箔にたまつた油や、調理物が燃えて火災の原因になります。



■消火の確認

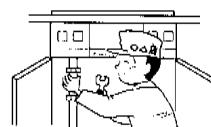
使用後は消火を確かめる



△警告

■ガス接続

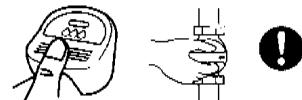
この機器のガス接続は配管技能者が行うため、お買い上げの販売店に依頼する



■異常時の処置

- 点火しない場合は、使用中に異常な燃焼、異音、異常音を感じた場合は、使用途中で消火した場合は迅速に使用を中止し、ガス栓を開める
- 「故障かな?と思ったら」(20ページ)に従い処置する
- 上記の処置をしてても直らないときは使用を中止し、お買い上げの販売店かお近くの大阪ガスまで連絡する

地震、火災などの緊急の場合は、迅速に使用を中止し、ガス栓を開める



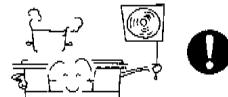
△注意

■換気に注意

閉めきった部屋で長時間使用しない
使用中は窓を開けるか換気扇を回す

→一酸化炭素中毒の原因になります。また、ストーブなど他の燃焼機器を長時間使用している部屋で人がいる場合は、点火しにくかったり、正常に燃焼しない場合があります。

*自然排気式給湯器および風呂釜を同時に使用する場合は、換気扇を回すなどの排気扇を回して換気してください。換気扇を回すと自然排気式給湯器および風呂釜の排気ガスが窓内に流れ込むおそれがあります。



こんろを覆うような大きな鐵板類やなべ、焼網は使わない

→不完全燃焼や機器の異常過熱、ごとくの変形、トッププレートの剥離の原因になります。

ごとくをはすしてなべなどを直接こんろにおいて使わない

→不完全燃焼や機器焼損の原因になります。

グリル庫内に食品肉やふきんなどがないようにする

*取り除く際はケガをしないように注意してください。

→使用中に燃えることがあります。

■用途について

調理以外の用途には使わない

→過熱、異常燃焼による焼損や火災の原因になります。



必ずお守り下さい

△注意

■やけどに注意

使用中や使用直後は操作部(つまみ・ボタン類、グリル取っ手)以外は触らない

→機器本体とその周辺および周辺道りが熱くなるため、やけどをするおそれがあります。

*特に小さなお子様がいる家庭では注意してください。

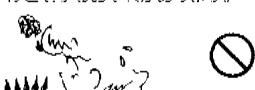


グリル使用中はグリル排気口に手や顔を近づけたりなべの取っ手等を向けたりしない

→高温の排気熱が出ているため、やけどや取っ手が破損するおそれがあります。

使用中はバーナー付近に触れないように注意する
→衣服に炎が移ったりする場合があります。

点火操作時はバーナー付近に顔を近づけ過ぎない
→熱や炎でやけどをするおそれがあります。



強火で使用する場合なべの取っ手に炎があたらないように火力を調節する
→やけどのおそれやなべの取っ手の破損の原因になります。



使用中・使用直後はグリル水入れ皿を勢よく引き出さない

持ち運びするときは中の水がこぼれないように注意する

→水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。



おねがい

●この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。

●本機器は乾電池を使用していますので、大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

設置について

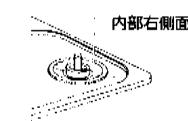
*工事説明書と合わせてご覧になり、工事説明書通り正しく設置されていることをご確認ください。

1 ガス種の確認

(1)ご家庭のガスの種類と機器の銘板(内部右側面)に表示されているガスの種類が合っているか確かめる

ごとく、煮こぼれカバーリング、バーナーキャップ、グリル排気口カバーをはずし、トッププレートを上に持ち上げてご確認ください。
確認後は、トッププレート等、浮き、傾きのないよう確実に設置してください。

銘板(ガス種の確認)



(2)合っていない場合はご使用をやめて、お買い上げの販売店かお近くのガス事業者まで連絡する

2 部品のセット

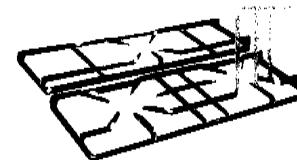
(1)あて紙や梱包部材やテープを取り除く

(2)各部品をセットする

図は110-5200型の紹介となっております。
110-5201型はチャオバーナーが付、標準バーナーが付についています。

ごとく

3本並んだ爪を手前にしてセットしてください。



標準バーナーキャップ

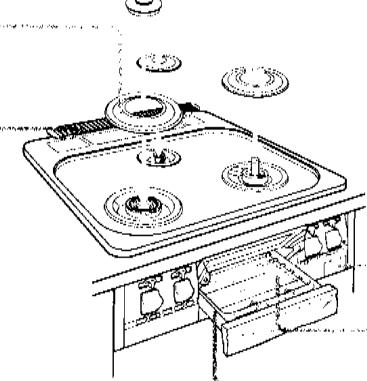
ふたがないほうが右こんろ(温度センサー付バーナー)用、大きいほうが左こんろ用です。

煮こぼれカバーリング

あなたの大きいほうが、左こんろ用です。



グリル排気口カバー



電池ケース

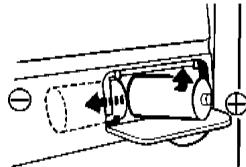
焼網

グリル水入れ皿

必ずお守りください

設置について

乾電池のセット

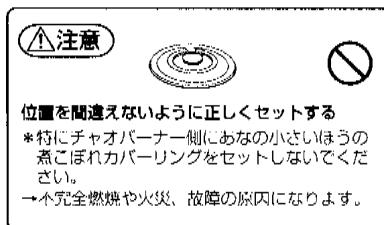
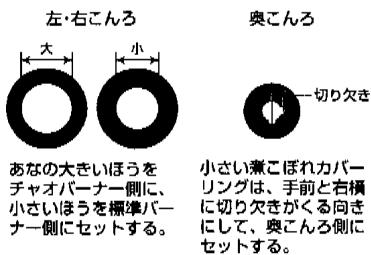


- ①電池ケースのふたを開ける
- ②乾電池の(+)を右にして入れ、先に入れた乾電池を左へ押しながら2個目を入れる
- ③電池ケースのふたを閉める

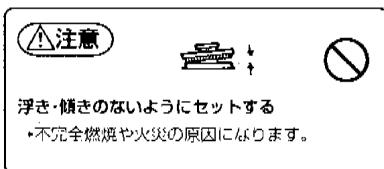
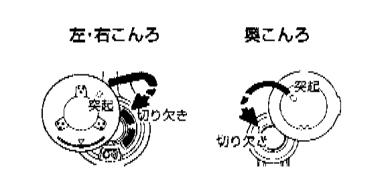
おねがい

乾電池は新しいものと古いもの、または違う種類のものを混ぜて使わないでください。
寿命が短くなりますし、乾電池が液漏れすることがあります。

煮こぼれカバーリングのセット



バーナーキャップのセット



バーナーキャップ上面の△印を手前にして突起を切り欠きにはめる

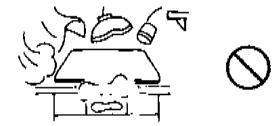
3 設置場所

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。



下記の条件を満たしている場所をお選びください。

- 換気が良い
- 周囲に可燃物がない
- 水平で安定している
- 風が吹き込まない
- 落卜物の危険がない
- 水や熱がかからない



4 防火措置

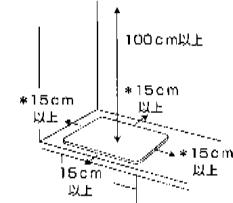
各地の火災予防条例に従って防火措置を行ってください。



ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた場合でも、下記(1)、(2)の防火措置を必ず行う

→伝熱により長時間に可燃物が炭化し、火災になることがあります。
*設置後に、機器の周囲の改修(吊り戸棚をつけるなど)をする場合も設置基準をお守りください。

- (1)可燃物(壁、棚など)から十分離して設置する

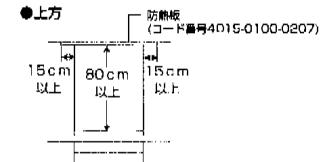
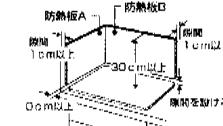


*トッププレート上方の周囲

- (2) (1)の条件を満たせない場合は防熱板を取り付ける

別売の防熱板(詳しくは22ページ参照)を図のように取り付けてください。

●側面・背面



こんろの使いかた

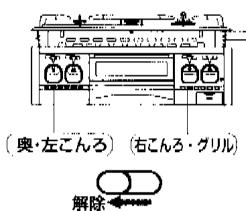
【注意】

グリル使用中、使用直後にグリル扉を開けた状態でこんろ操作をしない
→熱くなったグリル扉に手が触れてやけどをするおそれがあります。



1準備

■ロックつまみの位置

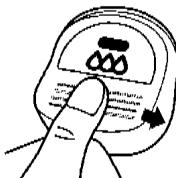


- (1)操作ボタンが押されていないことを確かめる
- (2)ガス栓を全開にする
- (3)ロックつまみを左に動かしてロックを解除する

おねがい

- ロックされたまま操作ボタンをムリに押したり、使用中にロックつまみを動かすと故障の原因になります。

2点火



- (1)操作ボタンをゆっくりいっぱいまで押し、そのまま数秒間押し続ける

- ボタンはいっぱいまで押さないと点火しません。
- バチバチと音がして点火します。（こんろとグリル同時に放電）
- 火力調節つまみが弱火側にあるときには点火操作すると、つまみは強の方向へ自動的に移動します。

- (2)手を離しても点火していることを確認する

- カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押してあるときは「赤」に、押していないときは「白」に変わります。

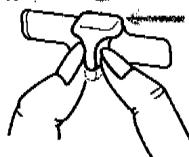
おねがい

- なべに付いた水滴はふき取ってからごとくにのせてください。余分な燃が必要になるうえ、水滴がバーナーに落ちて目づりし、点火不良になることもあります。
- なべをごとくにのせてから点火したほうがより点火が確実になります。
- 手を離すと消火する場合は押し時間の不足です。操作ボタンを戻して周囲にガスがなくなるのを待つてから、再度点火操作し、押し時間を長くしてください。
- 初めて使うときはしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。配管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

カラーサイン:赤

3火力調節

弱 ← 持ち上げる → 強



炎を見ながらつまみをゆっくり動かす

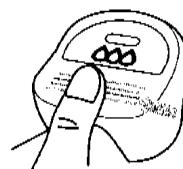
- 強火から弱火にする時、つまみは中ほどでいったん止ります。さらに弱火にするときは少し持ち上げて方に動かしてください。
- 勢いよくつまみを「強」から「弱」に動かすと、消火することがあります。
- 使用中しだいどき燃焼を確かめてください。

*煮込み調理などで長時間弱火が必要な場合は、標準バーナー（温度センサー側）をご使用ください。

おねがい

弱火でご使用の際、キャビネットがは何かに開閉してください。あまり強く開閉すると消火することがあります。

4消火



- (1)操作ボタンを押す

- 消火を妨かめてください。

- (2)ロックつまみを右に動かして操作ボタンをロックする

- 小さいお子様のいるお部屋にて利用ください。

- (3)ガス栓を閉める

- 燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

■全てのバーナー（こんろ・グリル）に次の安全装置が付いています。

安全装置の種類	機能説明と処置方法
立消え安全装置	風や煮こぼれなどで炎が消えたときに自動的にガスを止めます。 消火に気づいたときは すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてください。炎が消えてからガスが止まるまでの時間がかかります。 再点火するときは周囲にガスがなくなるのを待してください。

揚げものは必ず温度センサー付 バーナーを使う



標準バーナー(温度センサー付)には次の安全装置がついています。
左図のマークが貼ってある方のバーナーです。



安全装置の種類	機能説明と処置方法
天ぶら油過熱防止機能	<p>天ぶら油が過熱による発火をする前に自動的にガスを止めます。 (おしゃせサイン…2回点滅)</p> <p>消火に気づいたときは 操作ボタンを消火状態にします。</p> <p>操作ボタンを消火状態にし、油の温度が適温になるまでそのままお待ちください。 * なべへの種類や調理によっては途中で消火する場合があります。このようなどき、揚げもの以外の調理の場合は、チャオバーナーまたは小バーナーをお使いください。</p>
消し忘れタイマー	<p>万一の消し忘れのために、点火後、約120分経過すると自動的にガスを止めます。 (おしゃせサイン…1回点滅)</p> <p>消火に気づいたときは 操作ボタンを消火状態にします。</p>

●温度センサーを正しく作動させるためにお守りください

特に揚げもの調理時にお守りいただけなければ天ぶら油の過熱による発火を防止できないことがあります。

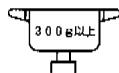


揚げ物の調理をする場合は必ず温度センサー付バーナーを使用する
火災予防のためにお守りください。天ぶら油は油の温度が非常に高くなると、
直接火が入らなくても発火します。

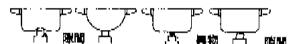


なべ底の中心を温度センサーの頭部に密着させる

なべ底と温度センサーの間に隙間や異物がないようにしてください。また、安全性の悪いなべは使用しないでください。

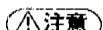


温度センサー
に密着させる



温度センサーとなべ底の密着する部分はいつも清潔にしておく

汚れが付着すると、温度センサーがなべ底の温度を正しく感知できず、発火の原因になります。
(温度センサーのお手入れ18ページ参照)



温度センサーに強い
ショックやキズを与えない
温度センサーが故障する原因となりますが

温度センサーが上下に動くか確認する

温度センサーを押してみてスムーズに上に動くか確認してください。温度センサーの動きが悪いと機能が正しく働かない場合があります。お手入れしても温度センサーの動きが悪いときはお買い上げの販売店かお近くの大坂ガスまでご連絡ください。



■揚げものの調理には200ml以上のお油を入れる
過熱による発火を防止するために、調理中も常に
200ml以上の油量を保ってください。

■なべの重さは調理物を含んで
300g以上とする

■温度センサーに適したなべを選ぶ

○…適する △…注意して使用する
×…適さない

なべなどの種類	油料理	その他の料理 (煮物など)	備考
鉄、アルミ製 なべ 天ぷらなべ フライパン	○	○	調理油の量が200ml以下の場合、発火することがあります。
ステンレス、ポーロー製 なべ ノイバン	×	○	調理油の量が200ml以上でも、なべ底の構造や厚み、凹凸によっては、発火することがあります。
中華なべ 打ち出しなべ	×	○	
耐熱ガラスなべ 土なべ 片手なべ	×	△	油料理には適していません。発火することがありますので使用しないでください。
焼網	△	×	消火することができます。

おねがい

●温度センサー付バーナーは温度センサーが約250℃になると消火するしくみになっています。
そのためなべが温度センサーに接触していない場合や、高温が必要とする調理では途中で消火してしまう場合があります。温度センサーに正しく接触しない鍋や耐熱ガラスなべ、土なべ、またワインナー炒めや炒りものなどの専用を必要とする調理にはチャオバーナーまたは小バーナーをお使いください。

<途中消火してしまう調理の例>

焼網を使う調理・炒りもの調理・ワインナー炒め
耐熱ガラスなべや土なべを使う煮物など



おしらせサインについて

おしらせサインは下記のことをおしらせしています。

おしらせサイン	おしらせ内容	処置方法／参照ページ
○ 2回点滅 (15分間) 	天ぷら油過熱防止機能が作動した	11
○ 1回点滅 (15分間) 	消し忘れタイマーが作動した	温度センサ付バーナー 11 グリル 15
● 点灯	電池が消耗している	7・13 (下記)

* 安全機能（天ぷら油過熱防止、消し忘れタイマー）が作動しておしらせサインが点滅を始めた場合、15分経過するまでは操作ボタンをもとに戻しても点滅は止まりません。故障ではありません。
ただし、点滅中にグリルまたは温度センサ付バーナーの点火操作を行うと点滅は止ります。

電池交換について

- 温度センサー付バーナーまたはグリル使用時に、おしらせサインが点灯したときは電池が消耗しているので、新しい乾電池（中1形 1.5V 2個）と交換してください。（ページ参照）
- そのままにしておくとバチバチと放電していくと温度センサー付バーナーとグリルは使えなくなります。
- 電池が消耗していくとセンサーが作動しなくなるので、操作ボタンを押したとき点火しても、安全のため、手を離すと消火するようになります。操作ボタンを押し続ければ点火していりますが故障の原因となりますのでおやめください。
- そのまま電池が消耗するとチャオバーナー・小バーナーも点火しなくなります。
- チャオバーナー・小バーナー使用時または電池がすっかり消耗したときは、おしらせサインの点灯はしません。

グリルの使いかた

△注意

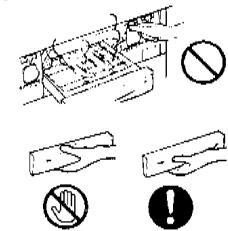
グリルを使用するときは必ずグリル水入れ皿に水を入れ、
使用中は常に水のある状態を保つ。グリル使用後は必ずお手入れする
→グリル水入れ皿にたよった脂や、副産物が燃えて火災の原因になります。

グリル使用中はグリル扉を開けたままにしない

→あふれた熱気により、トッププレートやつまみボタン等の周辺部が過熱され、ヤけどや変色・変形の原因になります。
グリル使用中、使用直後にグリル扉を開けた状態でこんろ操作をしない
→熱くなったグリル扉に手が触れてヤけどをするおそれがあります。

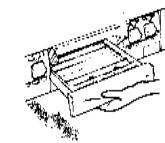
グリル使用中、使用直後にグリル取っ手上面部(特に金属部)に触れない
→高温のためヤけどをするおそれがあります。

熱くなったグリル扉に水をかけない
→カヌスが割れたりガタリがあるおそれがあります。

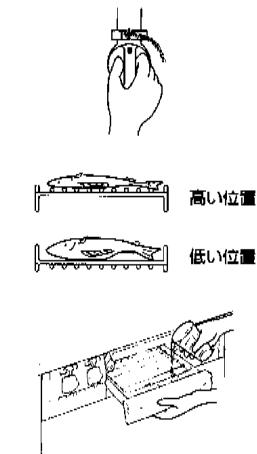


グリル水入れ皿の取り出しかた

中の水がこぼれないように、ゆっくりと引き出す
取りはずすときは、止まるところまで引き、少し持ち上げて引く
＊最初から持ち上げた状態で引き出さないでください。止まらずに勢いよく出てきてしまします。
＊持ち運びするときは、取っ手部をしっかりと持ってください。



1準備



- 操作ボタンが押されていないことを確かめる
- ガス栓を全開にする
- ロックつまみを左に動かしてロックを解除する

はじめて使うとき

- グリル水入れ皿にコップ1杯(約200ml)の水を入れる
- 約15分、空焼きする
- 庫内の油を焼ききるために煙や臭いが出ても異常ではありません。

4焼網をセットする

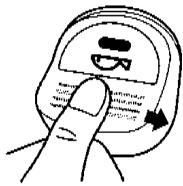
- 焼網は裏表で高さが変わります。焼物の種類、大きさにより使い分けてください。

ポイント

- 焼網に食用油を塗っておくと、くっつきにくくなります。
- ⑤グリル水入れ皿にコップ1杯(約200ml)の水を入れる
- 200mlの水は約20分でなくなります。
- 弱火で使用するときはそのつど水を足し、脂が飛び散るようなときは水を入れ替えてください。
- ⑥グリル水入れ皿を奥までしっかりと入れる

グリルの使いかた（つづき）

2点火



カラーサイン：赤

(1)操作ボタンをゆっくりいっぽいまで押し、そのまま数秒間押し続ける

●カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押してあるときは「赤」に、押していないときは「白」に変わります。

(2)バーナー全体に点火したことを確認する
(点火確認ミラーを利用すると便利です。)

(3)3分ほど予熱をしてから材料をのせる

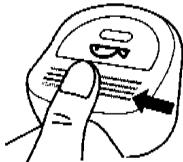
3火力調節



(1)材料に合わせて火力を調節する

●裏返した面は前よりも早い時間で焼き上がりります。

4消火



カラーサイン:白

(1)操作ボタンを押す

●消火を確かめてください。

(2)ロックつまみを右に動かして操作ボタンをロックする

(3)ガス栓を閉める

(4)グリル水入れ皿のお手入れをする

おねがい

グリル水入れ皿を急に水で冷やさないでください。変形するおそれがあります。

○ 焼きたのポイント

●焼網に食用油を塗っておくと、魚がくっつきにくくなります。

●魚のヒレなどこげやすい部分は厚めに塩をふるかアルミ箔で包んでおくとこげかたが少なくなります。

安全装置の種類

機能説明と処置方法

万一の消し忘れのために、点火後、約22分経過すると自動的にガスを止めます。調理物（魚など）の種類によっては、消し忘れタイマーが作動する前に発火することがありますので、機器から離れないようにし、焼きすぎに注意してください。（おしゃらせサイン…1回点滅）

消し忘れタイマー

消火に気づいたときは 操作ボタンを消火状態にします。逆流して使うときは、一旦消火して、しばらく待ってから再度点火してください。

点検とお手入れ

[点検とお手入れはガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。(機器が冷えるまで時間がかかります。)]

●日常の点検・お手入れは必ず行ってください。

●故障または被損したと思われるものは使用しないでください。

●「故障かな?と思ったら」(20ページ)を参照していにださ、如直に困る場合はお買い上げの販売店かお近くの大手ガスにご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。

●安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。(右図)

点検のポイント

*点検は常時行ってください。

機器のまわりに可燃物等はありませんか?

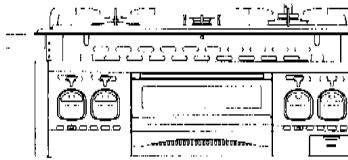
機器のよわりに可燃物や障害物がないようにしてください。

(3・8ページ参照)

各部品は正しくセットされていますか?

バーナーキャップ、点火子供ガーリング、ごとくなど左右前後正しくセットされているか確認してください。

(6・7ページ参照)



乾電池は消耗していませんか?

温度センサー付バーナーまたはグリルの操作ボタンを押してください。おしゃらせサインが点灯したときは新しい乾電池と交換してください。

*乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。ただし、付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

(7・13ページ参照)

汚れていませんか?

点火子供やグリル使用後などで機器が汚れているときはお手入れしてください。温度センサーを押してみてください。

*乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。ただし、付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。(17~19ページ参照)

ガス漏れありませんか?

ガス栓を開け、ガス配管の接続部からガスの漏れがないことを確かめてください。

お手入れ

点検とお手入れ

お手入れのしかた

- 機器や取りはずした部品は落とさないように気を付けてください。けがや故障の原因になります。
- お手入れの後は各部品正しくセットされているか確認してください。(6・7ページ参照)

△注意

お手入れは手袋をはめてする

→はめないと機器の角などでけがをするおそれがあります。

グリル庫内や本体内部をお手入れする際は各部品の突起物等に注意する

→力強く当たった場合、手をけがすることがあります。



お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

おねがい

シンナ、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器故障の原因になります。また、印刷塗装面にはみがき粉、たわしなどの固いものは使わないでください。衣類を傷付けます。

ごとく、煮こぼれカバーリング、グリル排気口カバー

汚れたときは台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る

*汚れたままにしておくと早くいたみます。

*奥こんろは、先にバーナーキャップを取り外してから、煮こぼれカバーリングを取り外すようにしてください。

● お手入れの後は正しくセットしてください。(6・7ページ参照)

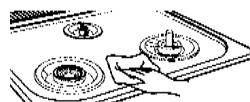


トッププレート

汚れたときは乾いた布で汚れをふき取る

● 汚れの落ちにくいときは台所用中性洗剤でお手入れし、乾いた布で水気をふき取ってください。

おねがい * 汚れはそのつどお手入れしてください。
そのままにしておくと、汚れが落ちにくくなります。



フッ素コートについて

- お手入れにはスポンジや布などのやわらかいものをお使いください。ナイロンたわし、金属たわし、みがき粉などの固いものは表面をキズ付けるので使わないでください。
- スポンジでもそれないしつこい汚れは乾いた布や柔らかい紙をお使いください。
- 中性洗剤以外の洗剤(レンジクリーナー、漂白剤などのアルカリ性洗剤)は使わないでください。フッ素コートをいため、シミや変色の原因になります。
- 汚れたままにしておくとシミになることがあります。
- 長期間のご使用によりフッ素コートが変色することがありますがフッ素の効果には影響ありません。

バーナーキャップ

炎が不ぞろいになったときはあなやみぞを金属ブラシや釘などで掃除する

* 口づまりをすると点火不良や不完全燃焼の原因になります。

● 表側の黒い部分はスポンジなどのやわらかいもので台所用中性洗剤を使用して洗ってください。万一、黒い部分がはがれてもそのままお使いになれます。

△注意

水洗いしたときは水気を十分ふき取る

→水滴がバーナーに落ちて口づまりし、点火不良になることがあります。



● お手入れの後は浮き・傾きのないようにセットしてください。(7ページ参照)

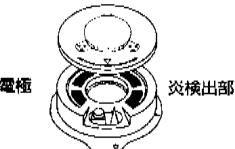
炎検出部、電極

汚れや水分が付いたときはやわらかい布で汚れをふき取る

* 汚れや水気が付いていると点火しにくくなります。

おねがい

取り付け位置を動かしたり、キズを付けないでください。
故障の原因になります。



温度センサー

温度センサーが汚れたときは温度センサーに片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る

* 汚れが付いていると温度センサーの感度が悪くなります。

△注意

温度センサーを押してみてスムーズに上下に動くか確認する

* 温度センサーの動きが悪いと機能が止しく働かない場合があります。お手入れしても動きが悪いときはお買い上げの販売店かお近くの大阪ガスまでご連絡ください。



おねがい

温度センサーにキズを付けないでください。故障の原因になります。



温度センサーは側面の汚れもふき取ってください。

お手入れと

点検とお手入れ

グリル水入れ皿、グリル取っ手、焼網

お使いのたびに台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る

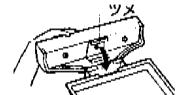
- *グリル水入れ皿は汚れたまよお使いになると、こびりついた脂汚れが発火するおそれがあります。
- グリル水入れ皿と取っ手は取りはずしてお手入れすることもできます。

取りはずしかた



「おす」を↓の方向に押して
はすす

取り付けかた



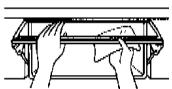
(1)ツメをグリル水入れ皿に
はめ込む



(2)グリル取っ手をおこす
●「おす」表示の部分がはまり、
固定されます。

グリル扉

汚れたときはスポンジ、布などのやわらかいもので汚れをふき取る



おねがい

- グリル扉のガラスはみがき粉、金属たわしなどを使わないでください。ガラスが割れる原因になります。
- グリル扉や支えは変形させないようにしてください。変形するとグリル扉の開まりが悪くなる原因になります。
- グリル扉は取りはずせません。

故障かな？と思ったら



故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。

トピックの現象に当てはまらないときは、よむ例話をしてもなお異常があるときは、お問い合わせの販売店またはお近くの大陽ガスまでご連絡ください。

現象	原因	処置方法	ページ
	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	9-14
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	7-13
	乾電池の取り付けが悪い	正しくセットする	7
	バーナー炎口の水滴や汚れによる日づより	バーナーキャップのお手入れをする	18
点火しない	バーナーキャップのセット不良	正しくセットする	7
	点てばれカバーリングのセット不良	正しくセットする	7
	部室内に空気が残っている	点火操作を繰り返す	9
使用中に消火する	点火操作が不適切	操作ボタンを押す時間を長くする	9
	炎検出部・電極が水ぬれしたり汚れている	炎検出部・電極のお手入れをする	18
	アルミ箔のしる受け皿を使っている	アルミ箔のしる受け皿を使わない	5
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ポンペを交換する	-
	温度センサーとはね底が正しく接触していない	温度センサーとなね底を正しく接觸させる	12
	安全装置が働いた	安全装置が働いたときの処置方法を参照する	11-13
おしらせサインが 点灯する	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	7-13
おしらせサインが 点滅する	安全装置が作動した	安全装置が作動したときの処置方法を参照する（ワインドヒル分離出滅）	11-13 15
黄色の炎で燃える	バーナー炎口の水滴や汚れによる日づまり	バーナーキャップのお手入れをする	18
炎が安定しない	バーナーキャップのセット不良	正しくセットする	7
異常な音をたてて 燃える	点てばれカバーリングのセット不良	正しくセットする	7
ガスのいや臭いがする	バーナーキャップのセット不良	正しくセットする	7

故障ではない場合	理由	お手入れ
点火・消火のときに 「ボッ」という音 がする	点火音・消火音で、異常ではありません。	故障？
使用中「シャー」と いう音がする	ガスの通過音で、異常ではありません。	故障？

保管とアフターサービス

■保管(長期間使わないとき)

機器のガス栓を必ず閉めて、乾電池を取りはずしておいてください。
*お手入れしておくと次回使用するときに便利です。(17~19ページ参照)

■アフターサービスについて

サービスのお申し込み

- より前ページ「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店かお近くの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけのときは次のことをお知らせください。
1. ご住所、お名前、電話番号、道順(付近の印跡等)
2. 品名……ガスピルトインコンロ
3. 品番……110-5200/5201型
(トのようなラベルが機器の本体内部右側面に貼り付けてあります。)

(P) 110-5200

(N) 110-5200

大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社

4. 画像……できるだけ詳しく
5. 説明文希望



転居される場合

- ガスの種類には都市ガスF種類とLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い上げの販売店かお近くの大坂ガスにご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

*ただし、ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。



補修用性能部品の最低保有期間にについて

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店、またはもよりの大坂ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。
- 補修用竹箭部品[※]性能を維持するための必要な部品の最低保有期間は、製造日切後6年です。但し最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

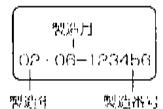
保証について

- このガスピルトインコンロには保証書がついています。
- 保証書に記載のようにガスピルトインコンロの故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間内でも修理費をいただくことがありますのでこの取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本製品は一般家庭用です。使用頻度の高い業務用で長時間使用の場合は、保証期間内에서도有料修理になります。



製造年月について

製造年月は本体内部右側面貼付けの銘板である確めください。



別売部品のご紹介

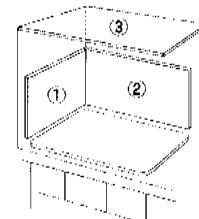
次のような別売部品を用意しています。
お買い上げの販売店かお近くの大坂ガスでお求めください。

防熱板

- 大坂ガス指定の防熱板以外は絶対に使わないでください。
- 防熱板は3種類(下記表参照)用意しております。

別売防熱板の種類			
品名	コード番号	高さ(mm)	幅(mm)
①防熱板A	07-77375-00	340	600
②防熱板B	07-77376-00	340	500
③防熱板	4015-0100-0207	550	900

防熱板の取り付けは別売店の防熱板取付説明書に記載されています。取付説明書に従って正しく取り付けてください。



フィラー

品名	高さ(mm)	幅(mm)
FLPD-50W	50	600

仕様

品 R1/2(ネジ) 15A鉄管または金属可とう管	110-5201
型式名	PD-301F-5L PD-301F-5R
種類	ガスグリル付こんろ 通気放散燃点火方式
点火方式	高さ264×幅596×奥行555mm
外形寸法(機器最大)	15.0kg
質量(本体)	Rc1/2(ネジ) 15A鉄管または金属可とう管
ガス接続	瓦斯入安全装置、調理油過熱防止装置(天ぷら油過熱防止機能) 消しられタイマー(標準バナー、グリル)、初火炎過炎装置
安全装置	ガス消費量
使用ガス ガスグループ	チャオバーナー 標準バーナー 小バーナー グリル 全点火時
都市ガス用13A kW(kcal/h)	4.65 (4000) 2.50 (2150) 1.40 (1200) 2.16 (1860) 10.5 (9000)
LPガス用 kW (kg./h)	4.34 (0.31) 2.46 (0.176) 1.40 (0.10) 2.10 (0.15) 10.1 (0.2)

④本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

■外形寸法図(単位:mm)

